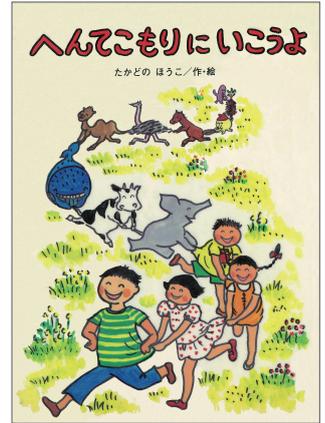




# 「ぼくの わたしの すきな 本」



(出版社: 偕成社)

こんな本だよ

ある日、ヘンテ・コスタさんがつくったへんてこ森に四人のなかよしがいました。

森の中でしりとりをしていて、まえの子が「つま」といつつぎにブ

ンタのばんでブンタが「まるぼ」といいました。  
そのしゅんかんヤカンのようなへんなものがでてきたのです。それからしりとりをつげると四人はおどろいたのです。

この本のところがすき！

わたしのすきなところは、いろいろなどうぶつたちや、いろいろなはじめてみたどうぶつがすきなのと、しりとりでてきたどうぶつが、へんてこ森の中しんにあるきいろいすべりだいからいろいろなものがすべすべしながらでていくところがおもしろいです。

きいろいすべりだいから、「リップがするするすべりてきて、おちやをつくれ」ところ。やじい、しゃぼんだまで、とんでいったのがおもしろかったです。

本の名前 なまえ

へんてこもりにいこうよ

本を書いた人 か

たかどの ほづこ

しりとり中、とっさに言ったことばから登場した「まるぼ」、  
黄色いすべり台からつぎつぎにあらわれる不思議なもの。  
つぎは何がでてくるのかな？ わくわくするね。

